

平成25年度 第9回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年(2013年)10月16日(水)
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 金目公民館 集会室
- 3 テーマ 金目地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者17名 傍聴者15名



金目公民館での集会の様子

5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。本日は夜分遅く、お仕事の後などお忙しい中、対話集会に御参加いただきありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

このほっとミーティングは、市民の皆様の御意見を直接伺って市政に生かしたいという考えのもと、はじめさせていただいた対話集会です。約2年7か月が経ちましたが、平成23年の3月には東日本大震災がありました。この震災は自治体の行政サービスを根本から考え直させる出来事になりました。私は震災直後の4月に就任させていただきましたが、市民の皆様の生命や財産を守るため、津波対策を中心とする防災対策に力を入れてきました。ほっとミーティングにおいても、平成23年度は平塚市を東西南北4ブロックに分け、防災対策をテーマに開催させていただきました。この金目公民館にも平成23年11月19日に伺い、参加者の皆様とは防災に関わる様々な対話をさせていただきました。

平成24年度以降は、それぞれの地域の課題を地域の皆様と一緒に捉えるため、地域のまちづくりをテーマに開催させていただいています。私は、地域と行政が一体となったまちづくりに取り組みたいと考えています。もちろん、行政を進めるのは、私をはじめとする市役所です。しかし、地域の皆様が地域の課題を捉えて行政と一緒に取り組んでいただくことは、その地域をより発展させ、地域の集合体である平塚市をより輝かせると信じています。平塚市の各地域にはそれぞれの魅力があります。特に、この金目地区には自由民権運動をはじめとする長い歴史や「エコミュージアム金目まるごと博物館」の取り組みのような一体感もあります。他にも、地域の皆様には様々な素晴らしい御活躍をいただいています。

本日は皆様からの御意見や御質問に対し、できる限り私がお答えさせていただきますが、中には具体的な内容などを確認する必要もあるかと思います。その際には、事務局から担当課に確認し、皆様にお返しさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

6 主な対話集会の内容

① 防災対策について

【参加者】

昨日、台風によって雨風が強くなった時、防災行政用無線からは避難に関わる放送がありました。しかし、雨風の音が大きかったことでもあります。放送内容を聞き取ることができませんでした。平常時においても、防災行政用無線は聞き取りにくいことがあります。避難指示などは命に関わることです。はっきりと聞き取れるように放送してほしいです。

【市長】

風向きや家の密閉度の高さから、防災行政用無線が聞き取りにくいところがあります。御意見のとおり、放送内容は命に関わることもあります。そこで、就任後早速、補完的な対策を行いました。ツイッターによる災害情報の発信や携帯電話に災害情報が届く緊急速報メール、防災行政用無線の放送内容を確認できるテレフォンガイドを整えました。テレフォンガイドについては、0180-99-4956または22-4956に電話をかければ、防災行政用無線で放送された内容を確認していただくことができます。ぜひ、御活用くださるようお願いいたします。

昨日の台風の際には、自主避難先として、25の地区公民館を開放しました。大きな台風の到達が予想できたため、地域の皆様の自主避難のために地区公民館を開けました。実績としては、なでしこ公民館と旭南公民館、岡崎公民館において、合計7名の方が避難されました。

また、金目地区の皆様には本当に怖い思いをさせていただきましたが、今年の7月と今年の4月、集中豪雨による金目川の急激な増水によって堤防が一部損壊してしまいました。県による堤防の工事は完了しましたが、これからも集中豪雨は起きる可能性があります。県に対しては、水量増加に備えた川底を掘る工事や周辺地域を守る堤防かさ上げの要望を続けていきたいと考えています。

【参加者】

片岡はがけが多い地域です。片岡神社北側の道路では、大雨によるがけ崩れの被害がありました。崩れた土砂の処理は行われましたが、上の道路にはひびが入ったままで、工事中の看板が立てられたまま放置されています。全国では土砂崩れによって命を失う災害が起きています。平塚市においても、がけ崩れを予防する対策が必要です。

【市長】

平塚市内には急傾斜地が多くあります。県では急傾斜地崩壊危険区域を指定し、崩壊を防止するための対策工事を行っています。土屋橋付近の地域は県の指定を受け、行政の予算にて整備させていただきました。しかし、中には行政による整備を行うことができない私有地のがけもありますので、所有者に対する指導などを行い、地域の皆様の安全を図っていきたいと考えます。

【参加者】

以前、五領ヶ台高校は災害時の避難所に指定されていました。今、跡地には福祉関係の施設が建設される計画があります。新しい施設が以前と同様、片岡の地域住民の避難所に指定されることを期待しています。

【市長】

五領ヶ台高校跡地には、支援が必要な子どもが通う県の施設を建設する計画が進んでいます。地域の皆様や市議会議員の方からも、同様の御要望をいただいています。市は新しい施設についても、避難所としての利用をお願いしており、県も検討してくれています。これからも、地域の皆様の安心安全のため、県への要望を続けていきたいと考えます。

【参加者】

災害時に地域を守るためには、多くの人手が必要です。しかし、日中、地域には大人の男性が少なくなります。常に地域にいることが想定されるのは中学生です。そこで、中学生を地域の防災訓練に参加させるべきです。体力のある中学生は、高齢者や障がいのある方を助けるために活躍してくれるはずです。

【市長】

現在、高齢者の方や障がいのある方など、災害時に支援が必要な方の情報を把握していただき、地域を地域で守る仕組みづくりが進んでいます。制度としては、災害時要援護者登録制度がありますが、登録のために支援者が必要なことなどの課題はあります。

以前、私は市職員の頃、防災の担当課にも所属しました。当時、中学生には避難を優先させ、災害対応への協力は考えていませんでした。しかし、今は教育委員会協力のもと、蘇生法や心臓マッサージなどを学んでもらっています。御意見のとおり、今の中学生は体も丈夫で判断能力もあります。地域を守るために活躍してほしい人材です。先週も、私の地元田村地区の訓練では、神田中学校の生徒が協力してくれ、大変心強く感じました。

② 交通・施設について

【参加者】

真田は高齢者や子どもがいる世帯が多く住む地域ですが、交通が非常に不便です。自動車がなければ、子育ての行事を行う保健センターや様々な手続きを行う市役所、地域の施設である金目公民館に行くことも困難です。住みやすいまちになるため、コミュニティバスの運行など、金目地区の交通を発展させてほしいと思います。

【市長】

この地域には、区画整理に伴って子育て世代の人口が増えました。交通の充実は、子どもを持つ世帯の利便性を高めます。また、高齢化社会は進み、現在平塚市の高齢化率は約23パーセントですが、数年後には30パーセントを超える見込みです。高齢者の方の生活にとっても、交通は重要な要素で、通院や買い物などにも大きく影響します。以前、大神地区や田村地区は無医村であったため、現在、平塚共済病院を經由して平塚市民病院まで向かうバスを運行させています。今後、この金目地区だけでなく、市内全域の交通が不便な地域において、コミュニティバスも含めた対策を考えていく必要があります。そこで、今年度4月、市役所の組織改正において、市内の交通対策を担当する交通政策課を新設しました。市民の皆様には御協力をいただきながら駅前の自転車対策を進めさせていただきましたが、今後は公共交通も含めた平塚市全体における交通体系の整備も行っていきたいと考えます。

【参加者】

真田・北金目特定土地区画整理事業などにより、金目地区には人口が増えました。小さな子どもの声を度々聞くようになり、若い世代の方が増えたことをうれしく思います。特に、子育てをする家庭には、市役所などで行う様々な手続きがあります。しかし、先ほどのお話のとおり、金目地区は交通が不便で市役所までは距離があります。この地域に市役所などとの書類のやり取りができる出張所が開設されれば非常に便利です。月に1回だけの開設でも、地域の住民にとってはありがたいことです。

【市長】

御存知のとおり、以前東海大学の中には出張所がありましたが、利用度の低下によって撤退させていただきました。しかし、今、まちの発展によって人口が増え、地域の皆様の要望が高いようであれば、再度設置を考える必要があると思います。

【参加者】

金目川の南側、根下の地域には子どもが遊ぶ公園や広場がありません。公園や広場がないため、子どもは道路で遊んでいます。地域の道路は交通量が多く、とても危険です。そこで、根下市営住宅跡地や長く道路用地として確保された場所があります。この道路用地は、20年以上道路が整備される様子もなく放置されています。公園の基準や道路用地の他目的利用が難しいことは理解していますが、地域の子どもの安全や問題解決のための活用を検討していただきたいと思います。

【市長】

地域の多目的な公園や広場、幼児や子どもの遊び場などについて、自治会をはじめとする地域の皆様から御要望をいただいていることは認識し、課題として捉えています。御要望に対する回答が堅苦しい内容になってしまっており、大変申し訳ありませんでした。行政は御要望に対する課題や進捗状況などを明確にお示しし、考えさせていただく必要があります。再度、御要望に対する市営住宅跡地や道路用地利用の課題と今後の活用の進捗状況、また、道路整備が進まない理由を担当課に確認し、公園や広場としての活用を考えさせていただきます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

根下市営住宅跡地については、市内の各部署に対しての利活用照会を公園や広場の主管課を含めて行いましたが、利活用を希望する部署はありませんでした。今後は年内に関係各課と協議のうえ、課題の整理を行う予定です。その結論を踏まえたうえで、根下市営住宅跡地についての有効な利活用方法を検討する中では、地域の皆様との意見交換の機会を持ちたいと考えています。

（事務担当は資産経営課資産管理担当）

本市道路整備課では、金目神戸線整備計画に基づき事業に着手して順次用地取得を進めていきましたが、一部地権者の用地協力が得られず、一時期事業を凍結せざるを得なかった期間がありました。用地取得が進まないため、本格的な整備を進められない状況下でしたが、生活道路の狭あい解消を進めるべく、現在は継続して部分暫定整備を進めています。今後も引き続き粘り強く交渉を続け、金目神戸線整備計画の実現に向けて努力してまいります。この道路用地は行政財産であるため、目的外の使用が市有財産規則で制限されており、遊び場としての活用が出来ないことについては、御理解をお願いいたします。

（事務担当は道路整備課計画担当）

【参加者】

自宅の前が公園予定地になっています。以前、市のホームページ「私の提案」から、地域の住民が音楽を楽しめる野外ステージの設置を提案しました。いただいた回答は、公園の目的は休息や鑑賞、遊戯、運動、レクリエーション、防災などであり、ステージは建てられないとのことでした。例えば、半球状の屋根が着いたステージは、災害時の避難場所としても役に立つと思います。考え方次第では、決して公園の基準から外れるものではないと思います。

担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

公園は、休息、遊戯、運動、レクリエーション、集会、防災の一時避難場所など、地域の皆様の住環境において、貴重な公共空間です。

この度、予定されている公園は、街区公園（以前は児童公園）として、小規模の公園であることから、自由広場、遊戯施設、休養施設、植栽等の配置を考慮すると、御提案の野外ステージは、小規模で災害時に役に立つ施設であっても、極力オープンスペースを確保することから、設けることは難しいと考えています。

なお、街区公園より規模の大きな公園（近隣公園：約2ヘクタール、地区公園：約4ヘクタール）では、地域の皆様の理解のうえ、より多目的な利用施設として設けることは可能と考えています。

今後も、皆様が安全・安心で、親しみが持て快適な利用ができる公園整備を、皆様とともに考えてまいりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

（事務担当はみどり公園・水辺課公園整備担当）

③ 福祉・子育て・教育について

【参加者】

金目地区社会福祉協議会では、高齢者を対象にしたイベントを開催しています。8年前から、ふれあいサロンにも取り組み、現在は金目地区の5か所で定期的に開催しています。健康維持のための体操やお茶を飲みながらの交流などを行っています。市の保健師の方を招いて健康に関わる話をしていただき、相談に乗っていただくこともあります。昨年、落合市長にも、真田のふれあいサロンには参加していただきました。市役所の福祉総務課からは、町内福祉村の取り組みもお願いされていますが、金目地区には自治会ごとに発展したふれあいサロンが大変好評を得ていますので、この地区社会福祉協議会の活動を続けていきたいと考えています。

【市長】

御意見のとおり、私もふれあいサロンには参加させていただきました。体操では汗をかき、参加者の皆様とはお茶を飲みながら話をさせていただきました。とても和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごさせていただきました。このような地域社会や高齢者の方を支える地域の活動は、まさに地域の課題を地域で捉えて取り組むまちづくりの仕組みであると思います。地区社会福祉協議会の活動を本当にありがたく思います。ぜひ、今後も御尽力くださるようお願いいたします。

町内福祉村とは地区社会福祉協議会とは別に、高齢者の方の身近なサービスや居場所づくりなどに取り組んでいただくものです。現在、市内13の地区に町内福祉村がありますが、決して強制することではありません。私の地元の田村地区も同様ですが、この金目地区には社会福祉協議会の活動において、すでに町内福祉村の機能を発揮していただいている取り組みがあります。さらに、地域にはそれぞれ歴史があり、様々な課題に取り組んできた形やその地域に合った活動の姿があります。このような点からも、この金目地区の社会福祉協議会の活動を尊重していきたいと考えます。

【参加者】

私たちのグループ「でこぼこIN金目」では、金目地区がゆとりある子育てを行うことができる地域になるよう、世代を越えたふれあいサロンを実施しています。乳幼児期の子どもは人間関係の基盤をつくります。また、一人で子育てに悩むお母さんはとても増えました。地域との交流を持つことで、子どもは人間関係を学び、親は子育ての疑問を解決しながらリフレッシュできます。地

区社会福祉協議会や自治会、民生委員児童委員、公民館、高齢者よろず相談センターなどの協力を得ながら、ゆとりある子育ての環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。はじまったばかりの活動なので、このような機会に紹介させていただいており、先日も公民館長の御協力によってコスモスまつりにて活動を案内させていただきました。幅広い世代交流と子育て支援を行うことができるサロンとして、活動していきたいと思っています。

【市長】

行政が行う子育て支援の場では、市内に3か所「つどいの広場」があります。湘南スターモール商店街にある「もこもこ」や四之宮の「きりんのおうち」、西部福祉会館内の「どれみ」です。他に、豊田地区には子育て支援センターもあります。各施設では子育ての相談ができ、親子がふれあって楽しむことができるコミュニティスペースもあります。この金目地区の子育てを支えていただく「でこぼこIN金目」の活動は、地域の子どもを地域で育てる取り組みの一環だと思います。本当にありがたく思いますので、今後もよろしく願いいたします。

【参加者】

西部福祉会館にある旭北福祉村の活動に参加させていただいています。介護予防の活動やフォークダンスなど、とても楽しく通わせていただいています。旭北福祉村では、この金目地区からの参加も受け入れていただいております。広川や片岡、南金目の地域から参加している人もいます。しかし、同じ金目地区でも、北金目や真田の地域からの参加者はいません。理由はやはり、不便な交通だと思います。知人の中には、送迎バスがあれば参加したいという人も多くいます。他地区からの参加者が増えることで、福祉村の活動はもっと盛んになると思います。

【市長】

福祉会館を御利用いただきありがとうございます。福祉会館4館構想により、市内東西南北への福祉会館の整備が完了しました。様々な地域の方から御利用いただけるよう、利用者の方のための交通手段は考える必要がある課題です。

これからのまちづくりには、高齢者の方の住みやすさが求められます。医療や介護、福祉などが連携して高齢者の方を支える地域包括ケアシステムが必要になります。御意見いただいた、交通の利便性を考えることも、この地域包括ケアシステムの構築や地域活動の活性化においては重要な要素です。

【参加者】

スマートフォンやパソコンなどによる子どもが巻き込まれるサイバー犯罪（主にコンピュータネットワーク上で行われる犯罪の総称）が増えています。フィルタリングなどの対策はありますが、悪質なサイトは後を絶ちません。

【市長】

子どもが狙われる犯罪が増えています。犯罪から子どもを守らなければいけません。特に、中学生になると、携帯電話を持つ子どもが増えます。教育委員会を中心とし、学校におけるサイバー犯罪に対する教育や携帯電話利用の規制などが対策になります。

【参加者】

金目公民館では、地域の子どもの地域のことを学ばせてあげたいと強く思っています。子どもの体験や経験はタイミングが大切です。現在取り組んでいる「エコミュージアム金目まるごと博物館」など、地域や学校などの協力を得て新鮮な行事の実施を心がけています。また、金目地区に住むからには、地域の米づくりや野菜づくりを知ってもらいたいとも考えています。平塚市全体でも、子どもの郷土愛を育てる活動に取り組むべきです。

【市長】

実は、私も市職員の頃に公民館に勤めた経験があります。当時から地域の皆様には、子どものために様々な御協力をいただきました。各地域にはそれぞれの魅力があります。本日も公民館にて「エコミュージアム金目まるごと博物館」の取り組みを教えていただきました。地域資源を生かした子どものための活動に感謝を申し上げるとともに、今後も御協力くださるようお願いいたします。

【参加者】

学童保育に携わっています。昨日も雨の中、地域の皆様に御協力いただき、金目地区の探検をさせていただきました。子どもは地域の知らないことを学び、学童クラブに戻ってからも楽しそうに話していました。地域で学んだことは自宅に帰ってからの話題にもなり、家庭でのコミュニケーションにつながります。地域の皆様に支えられることを本当にありがたく思っています。

【市長】

子どもが地域との関わりを持ち、地域のことを学ぶ取り組みに御協力いただき本当にありがとうございます。子どもの成長のため、とても大切な経験になると思います。これからも、子どもの教育に御協力いただき、地域の豊かな歴史や文化を学ばせてあげてください。

④ 経済について

【参加者】

昨年から、みずほ小学校の米づくり体験に J A 湘南（湘南農業協同組合）と生産組合が協力してくれています。田植えから稲刈り、脱穀、餅つきまで一緒に行ってくれます。J A 湘南との取り組みが、地域の子どもの教育に役立っています。子どもだけでなく、農業は高齢化社会にも生かされます。長生きの秘訣はやりがいを持つことで、全国では農作業に携わって健康を維持している実績が多くあります。逆に、農業には大きな課題もあります。今、水田を維持することは非常に難しくなりました。しかし、金目地区の豊かな環境に水田は欠かせません。小学校の米づくりと同様、高齢者の健康や水田維持のためにも、J A 湘南との協力を進めてほしいと思います。

【市長】

平塚市は米の生産高が県内で一番です。私も農家の人間で、昔から米づくりには親しんできました。農業からは、食べ物の大切さや命の尊さなど、様々なことを学ぶことができます。農業を取り込んだ教育も大切な取り組みです。

今、都市近郊農業のあり方が問われており、担い手不足や耕作放棄地の増加が大きな課題です。この真田の地域ではモデル地区として、地域ごとの特性に合った農業振興策「人・農地プラン」がはじまりました。高齢者の方が農業に参加して生きがいを持ってもらうことは、医療や介護の予防にもなります。様々な農業に関わる課題について、J A 湘南との協力を考えていきたいと思っています。

【参加者】

郊外には駐車場付きの大きなスーパーマーケットが多く、商店街の小売店経営は難しくなりました。自分の店で売っていないものを頼まれてもお客様に届けてあげる店もあり、地域商店街の小売店は採算度外視で頑張っています。また、金目地区商店街の多くの店が、買い物難民対策の冊子作成に協力しました。小売店の大切さをアピールし、商店街の活性化を考えてほしいです。

【市長】

今、地域商店街は減り、あり方が問われています。地域経済発展のためにも、商店街の活性化は欠かせません。身近な商業サービスの担い手として、地域や人との連携を生かし、差別化を図る必要もあります。今、課題になっている高齢者の方の買い物難民なども、商店街を含めた地域のつながりを生かした取り組みが必要になると考え、対策を進めています。

7 市長によるまとめ

本日は様々な立場からの御意見や御提案をいただきました。皆様の御意見や御提案は、この金目地区を想うからこそのものであり、地域のお声であると思いつながり受けとめさせていただきました。

金目地区は本当に素晴らしい地域です。これからも金目地区がより良い地域となるよう、それぞれの取り組みからまちづくりに御参画くださるようお願いいたします。

本日の御参加に厚く御礼を申し上げ、終わりのあいさつにさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

アンケート結果報告

【回答数 28件（参加者 16件 傍聴者 12件）】

参加者・傍聴者について

年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	3名	3名	4名	8名	10名	0名

性別

男性	16名
女性	11名
回答なし	1名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	6名	5名	11名
ポスターやチラシ	2名	2名	4名
町内会など地域から	8名	1名	9名
市ホームページ	0名	4名	4名
その他	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	9名	5名	14名
まあよかった	5名	7名	12名
どちらともいえない	1名	0名	1名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	1名	0名	1名

質問3 本日の対話集会のご感想や運営へのご提案等について。

回答

- ・ 落合市長と直接話し合いができたことは有意義です。
- ・ 意見を聞くだけにしないでほしいです。
- ・ 後日、参加して良かったと思えるようにしてほしいです。
- ・ 参加者に丁寧に回答していただき、良かったです。
- ・ 今後も地域ごとに実施してほしいと思います。
- ・ 丁寧な対応をしていただき、ありがとうございました。
- ・ 担当部署の出席を期待します。
- ・ これからも、金目地区の子どもの成長を見守ってほしいです。
- ・ 地域や各年代の課題を共有できて良かったです。
- ・ 市長と行政を身近に感じることができる有意義なほっとミーティングでした。
- ・ 次回はテーマをしばって対話を行いたい。
- ・ 発表しやすい雰囲気でした。
- ・ 日中の開催をお願いしたい。
- ・ 次回も参加したいと思います。
- ・ 当たり前の環境は、見方次第で良いものになると思いました。
- ・ とても良い経験をしました。
- ・ 平塚市全体のミーティングも開催してほしい。
- ・ 司会者が本当に上手に進行してくれました。
- ・ 私たちもできるところから進めていきたいと思いました。
- ・ 若い世代に参加の働きかけをしてほしい。